

神戸市会議員

# ひらの 平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団  
神戸市中央区加納町6丁目5-1  
電話 331-8181 内線 7060



## 地下鉄湊川公園駅改札前に市場が進出実現!

今まで消防法で消極的であった地下鉄改札前の利用について交通局を説得

- ・閑散とした改札前スペースを利用。賑わいへ
- ・会社帰り共働き世帯のために夕方から出店!
- ・市場・商店街の出張出店のモデルケースに!
- ・マルシンマルシェ in 湊川公園駅の実績

2023年 1月(8日間)16店舗参加

2023年 4月(7日間)18店舗参加

2023年 11月(7日間)15店舗参加

〈質疑内容はP2に〉



マルシンマルシェin湊川公園の様子

## 兵庫駅南公園こどもフェスタの皆様のドローン教室を実現!



ドローン

兵庫駅南公園こどもフェスタの皆様を対象に神戸南ロータリークラブ様からドローン教室の実現の橋渡しのご相談をいただきましたが、実施できる場所がドローンの利用実績がないことから困難を極めました。この経験から質疑いたしました。(本件は、神戸マツダ様のご快諾いただきホールを貸していただきました)

〈質疑内容はP3に〉

## 大学教授とゼミ生を東山商店街とつなぎ、夜市に店舗を構える!

### 実績

- ・東山商店街の夜市や、歳末イベントに流通科学大学の教授と学生、そしてこどもフェスタの皆様をつなぎ、多世代交流の実現へ。
- ・兵庫運河でのブルーカーボンの取り組みに地元企業とともに神戸高専の教授と学生が参加。

これらの経験から、地域活性化には、企業とともに大学生の参画が必要。

〈質疑内容はP2に〉



湊川夜市(東山商店街にて)令和5年8月26日

## 人が集まる魅力ある街へ

地下鉄の地下駅改札前の賑わい作り、市場・商店街の活性化のため、マルシンマルシェ in 湊川公園駅西改札を実現！交通局は、地下鉄の地下駅の改札前スペースの活用は、消防法で大変消極的であったが、令和4年9月29日の委員会で説得提案。令和5年1月にテストケースでマルシンマルシェ in 湊川公園駅西改札（8日間16店舗参加）を初めて実現。令和5年3月3日の委員会で経済観光局へ更なる支援を要望。同年4月にマルシンマルシェ第二弾（7日間18店舗参加）が実現。更なる活性化策で神戸市小売市場連合会にも協力いただき、市長へ質疑！



令和5年10月24日一般質問（本会議場にて）

**平野達司** マルシンマルシェの実現により、効果測定（来客数・購買者数・本来の市場への誘客数など）を行い、他の駅で、その土地の市場・商店街が出店しやすいようにすべきではないか？また、来年実施の世界パラ陸上などの大型イベントなどで複数駅で市場・商店街の同時出張出店を行ってはいか？

**久元市長** 市場の認知度を高めた、この事例を関係者に展開し、拡大する方向で検討する！

**今西副市長** 効果測定は、重要。神戸市も神戸市小売市場連合会と連携し、効果測定した上で、各団体に共有する。そして、市場・商店街の取り組みを後押ししたい！そして、大型イベント時は、円滑に進むように幅広く支援したい！

**平野達司** さらに神戸市内の食の流通と地産地消がより進むように今後神戸市内に進出するホテルなどへ市内事業者の取り扱いがつながるよう働きかけを提案。

**今西副市長** 市内での地元産農産物などの利用が促進されるよう引き続き努力する！

## 地元活動、地域の担い手に若い力と活力を！

（令和5年10月24日日本会議での代表質疑で）

東山商店街に流通科学大学の教授とゼミ生を引き合わせ、新たな活動を実施できたことや、兵庫運河での学生と企業との活動などが、様々な活性化につながる経験からそれを神戸市全体で実施すべきと思いで、質疑させていただきました。

**平野達司** 大学と大学教授、そして地元企業が連携して地域の課題の解決促進へ。

**久元市長** 大学に協力を求められる内容や、地元の団体が求める内容、そして大学が今まで貢献してきた内容などを整理して、大学・企業・行政と連携した場を作っており、その中で連携し、活用を広げていきたい！

## 子育て世代への支援と活性化

（令和5年10月24日日本会議での代表質疑で）

共働きが増え、保育園に預けられる方も大変多くなりましたが、出産後から2歳までで参加できる子育てコミュニティがたくさんあり、行けなかったという後悔がないよう、また、参加いただきたいという思いで質疑いたしました。

**平野達司** 子育てコミュニティにもっと参加するため（情報、きっかけなど）の後押しが必要では？兵庫区・中央区で実施している“はじめのいっぽツアー”を展開すべきでは？

**小原副市長** はじめのいっぽツアーは、いいネーミング。近隣の子育て施設や地域コミュニティを知るきっかけになっている。各区での先進的な取り組みを子育てコーディネーターを中心に関係機関と連携して進めていく！



## ■文化センター体育館などのドローン利用ができるようになります！ (令和5年7月26日委員会での質疑)

**平野達司** 将来の子供達にドローンを体験できる場所を広げようとも、使える場所がない。体育館・文化センターなどルール化が必要では？

須藤神戸市民文化振興財団常務理事 ドローンの利用申請含め実績なし。利用条件も未設定のため、検討する。

上記質疑後、神戸市民文化振興財団より、利用条件設定のため、ドローン企業の紹介依頼を受けました。

KOBE モビリティフィールド協議会のドローン企業様にご協力を依頼し、利用における注意事項、意見、情報をいただき、神戸市民文化振興財団と共有。

今後、ドローンイベントやドローン教室、ドローン教習所、ドローンプログラミングなど利用ニーズに応えられる条件などを作り上げ、利用できるようにする予定。



神戸マツダ様のホールにて実施できたドローン教室 (令和5年6月4日)

## ■学校給食について (令和5年8月28日委員会での質疑)

(多子世帯や共働きの親御さんからご相談いただきました)

**平野達司** 4月入学式後3日間は、新入生のアレルギー対応のお子さんの確認のため全学年の給食が未提供である。しかしこの期間については小学生2年生以上であれば、学校引き継ぎ対応できているので、多子世帯、共働きの方々のためにも給食提供があってもいいのではないかと。

高田教育委員会事務局長 社会環境の変化の中で給食に求められている役割の変化は重々認識。

保護者の負担軽減の点も含めて、より一層提供回数の増加を含めた充実を図っていく必要がある。今後も給食提供の在り方について考えていきたい。



## ■小児科・産婦人科について (令和5年10月4日委員会での質疑)

(兵庫区は、小児科が少なく、出産できる産婦人科がないため)

**平野達司** 地域医療の小児科・産婦人科の確保・充実を！

健康局：花田局長 我々も非常に問題だと思っており、ちょうど検討しているところ。できるだけ具体的に答えを出していきたい。

**平野達司** 子供の予防接種一覧に小児科の一覧も同時記載を。

健康局：花田局長 定期予防接種の契約医療機関の一覧に小児科を標榜する医療機関をわかるように追加し、2023年内めどに変更していく。



令和5年10月4日健康局質疑(決算特別委員会)

より子育てについて情報提供できるよう令和3年10月8日に本会議で市長に質疑  
ママフレサイトを改め、子育て応援サイト こどもっと KOBE を実現提供！  
2023年11月リリース



神戸市議員平野達司(たつじ)事務所  
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F  
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301  
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP



平野たつじ Facebook  
神戸市の情報をお伝えいたします。

神戸市会の  
本議会、委員会を  
インターネットにて  
閲覧できます。



神戸市会

## 今まで通り暮らし続けられる街へ

### ■ 指定難病受給者証の交付について (実際に指定難病の方からご相談いただきました) (令和5年10月4日委員会での質疑)

**平野達司** 指定難病受給者証の交付の短縮を!

健康局：萩野部長 個々の事務処理を見直し、診断書に不備がない場合、申請後2ヶ月を1ヶ月から1ヶ月半程度で発行できるよう事務改善を図る。

### ■ 神戸シニア元気ポイント (高齢者の方々の活躍の場へ、具体的にご相談いただきました) (令和5年9月28日委員会での質疑)

**平野達司** 学習支援・子育て施設にポイントの付与の対象にできないか? 高齢者の社会参加の範囲を拡大できる。公共的な活動も活性化できるのでは?

福祉局：森下局長 地域の課題解決にもつながる取り組みは歓迎すべき。地域ニーズ・活動の実態を把握し、様々な声を聞きながら魅力をアップしていきたい。

### ■ 国民健康保険証の不正利用について

**平野達司** 成り済ましや使い回し等がある。保険証交付時や、医療機関で何か対応できないか? 対策は?

福祉局：若杉副局長 新規加入時、保険証の再交付時に本人確認の対策を行い、医療機関との取り組みも含めて進めていく。

## 環境に配慮した魅力ある街へ

(令和5年9月25日委員会での質疑)

コロナ禍含めて大型ゴミの量が増加しており、大型ゴミは、布施畑環境センターで燃やされることとなります。結果二酸化炭素の増加につながってしまう。

この大型ゴミを少しでも減らせるように、また、神戸には、不要物品大型オークション会場もあることから、リユース促進を本会議(2021年10月8日)で質疑!

神戸市として、“おいくら”と“ジモティ”連携し、リユース促進を実現できました。

しかし、結果の見える化ができていない!ため、以下質疑を行いました。

### ■ 大型ゴミのリユースの見える化について

**平野達司** 以前の質疑から民間サービス“おいくら”と“ジモティー”と神戸市は、連携し、リユースを促進しているが、具体的に大型ゴミの減量効果がわからない。見える化すべき。

環境局：柏木局長 連携事業者と協議し、実態の把握や市内事業者の利用がわかるよう検討していく。

### ■ 行政の移転による残地備品のリユースについて

**平野達司** 50万円以下のものは、各部局で個別に知っているところに依頼している。環境局がリユース事業者を一覧にして各部局の財政向上に繋げるべきではないか?

環境局：柏木局長 行政が率先していくべき。環境局がしっかり取り組みを行い、実績を重ね得た情報を庁内に共有できるよう努め進めたい。

(質疑のやりとりは要点を中心に、あとはカットしています。言葉のやりとりは丁寧な言葉や敬語を抜いています。)



令和5年10月24日会派代表して(本会議場)

### ご挨拶

最後までお読みいただきましてありがとうございました。

また、市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。

日頃から兵庫区内を回り、皆様からいただきましたご意見やご要望は、市当局へ直接申入れ、お応えしてまいりました。また、議会では、会派を代表して、市長をはじめ、市当局に質疑を通じて市政に反映するよう求めてきました。今後とも多くの皆様からのご意見、ご要望、また諸課題をしっかりと受け止め、皆様からのご付託にお応えするよう努力を続けて参ります。

今回は、今年の9月決算市会を中心に、本会議での質疑、委員会での質疑の要旨をご報告させていただきました。